



2021年9月24日

各位

会社名 株式会社メディネット
 代表者名 代表取締役社長 木村 佳司
 (コード番号:2370 東証マザーズ)
 問合せ先 取締役 経営管理部長 落合 雅三
 (TEL 03-6631-1201)

(開示事項の変更)

第三者割当による新株予約権の発行に関する資金使途及び支出予定時期の変更について

当社は、2021年9月24日付の当社取締役会において、2020年1月17日付「独立行政法人国立病院機構との共同開発契約の合意解約並びに第三者割当による新株予約権の発行に関する資金使途及び支出予定時期の変更について」¹(以下「2020年1月開示」)において開示いたしました、「調達する資金の具体的な使途(変更後)」の内容の変更を決議いたしましたのでお知らせします。

記

1. 2020年1月開示において開示の「調達する資金の具体的な使途」の変更内容

(1) 第14回新株予約権

<変更前>

調達する資金の具体的な使途(<変更後>の変更箇所は下線)

具体的な使途	金額(百万円)	支出予定時期
① 再生医療等製品(ATL-DC-101)の開発費	3	令和元年7月～令和元年12月
② 慢性心不全治療に用いる再生医療等製品の 実用化に向けた共同研究費用	230	令和2年1月～令和3年9月
③ 再生医療等製品(糖鎖修飾改変T細胞等)の 開発費	812	令和元年7月～令和3年9月
④ ②及び③の国内製造販売承認を得るための 体制整備にかかる費用	78	令和2年10月～令和3年9月
合計	1,123	

※2020年1月開示において開示の「調達する資金の具体的な使途」変更前の内容

¹ 2020年1月17日リリース <https://ssl4.eir-parts.net/doc/2370/tdnet/1784524/00.pdf>

<変更後>

調達する資金の具体的な使途(変更箇所は下線)

具体的な使途	金額(百万円)	支出予定時期
① 再生医療等製品(ATL-DC-101)の開発費	3	令和元年7月～令和元年12月
② 慢性心不全治療に用いる再生医療等製品の 実用化に向けた共同研究費用	<u>654</u>	令和2年1月～ <u>令和4年9月</u>
③ 再生医療等製品(糖鎖修飾改変T細胞等)の 開発費	<u>216</u>	令和元年7月～ <u>令和5年3月</u>
合計	<u>873</u>	

上記②につきましては、当初の開発スケジュールよりも時間がかかる見通しであることから支出予定時期を延長するとともに、他の研究開発パイプラインの進捗等を踏まえ、優先して開発に取り組むため、充当予定額を見直しております。③につきましては、より開発段階が進んだパイプラインに優先して取り組むこととしたため、当初の開発計画から遅延することから、支出予定時期を延長するとともに、充当予定額の見直しをしております。また、上記変更前④につきましては、第14回新株予約権の資金使途としておりましたが、当社株価の下落に伴い調達金額が減少したことから、本資金使途へは未充当となり、実施できていなかったために削除することといたします。今後、手元資金の活用(従来想定していた資金使途の変更を含む)、新たな資本による調達、またはその他の手段による資金調達についても検討を行ってまいります。

※第14回新株予約権は、170,000個(17,000,000株)全てが行使完了しており、873百万円の資金を調達しております。2021年9月24日現在において、①3百万円、②390百万円、③44百万円をそれぞれ充当しており、支出していない資金436百万円については、実際に支出するまでの期間、銀行等の安全な金融機関において管理しております。

(2) 第15回新株予約権

<変更前>

調達する資金の具体的な用途(<変更後>の変更箇所は下線)

具体的な用途	金額(百万円)	支出予定時期
① 慢性心不全治療に用いる再生医療等製品の実用化に向けた共同研究費用	226	令和元年10月～令和3年9月
② 再生医療等製品(糖鎖修飾改変T細胞等)の開発費	474	令和2年10月～令和3年9月
合計	700	

※2020年1月開示において開示の「調達する資金の具体的な用途」変更前の内容

¹2020年1月17日リリース <https://ssl4.eir-parts.net/doc/2370/tdnet/1784524/00.pdf>

<変更後>

調達する資金の具体的な用途(変更箇所は下線)

具体的な用途	金額(百万円)	支出予定時期
① 慢性心不全治療に用いる再生医療等製品の実用化に向けた共同研究費用	226	令和元年10月～令和3年9月
② 再生医療等製品(糖鎖修飾改変T細胞等)の開発費	<u>172</u>	令和2年10月～ <u>令和5年3月</u>
合計	<u>398</u>	

上記②につきましては、他の研究開発パイプラインの進捗等を踏まえ、より開発段階が進んだパイプラインに優先して取り組むこととしたため、当初の開発計画から遅延することから、支出予定時期を延長しております。また、当社株価の下落に伴い調達金額が減少したことから、充当予定額を変更しており、今後、手元資金の活用(従来想定していた資金用途の変更を含む)、新たな資本による調達、またはその他の手段による資金調達についても検討を行ってまいります。

※第15回新株予約権は、70,000個(7,000,000株)全てが行使完了しており、398百万円の資金を調達しております。2021年9月24日現在において、①226百万円を充当しており、支出していない資金172百万円については、実際に支出するまでの期間、銀行等の安全な金融機関において管理しております。

なお、本件による2021年9月期業績に与える影響は軽微であります。

以上